

第 40 回水環境シンポジウム

市民のための蓄雨とグリーンインフラ

主催：日本建築学会 環境工学委員会 水環境運営委員会 雨水活用推進小委員会
後援（予定）：日本造園学会、土木学会、日本雨水資源化システム学会、日本緑化工学会、日本景観生態学会、日本都市計画学会、空気調和・衛生工学会、雨水ネットワーク、グリーンインフラ研究会
日時：2017年2月25日（土） 13:00～17:30
場所：建築会館ホール（〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号）

【開催趣旨】

地球温暖化や都市部における水循環の不健全化により、浸水被害やヒートアイランド現象などによる被害が顕著化しています。本シンポジウムでは、2016年3月に発行された日本建築学会「雨水活用技術規準」で提唱された雨を敷地に留めることを主眼とする概念である「蓄雨」をキーワードに、新たな雨まちづくりについて考えます。また、今後必要となる都市部におけるみどりの役割を改めて問い直し、街づくりに自然が持つ防災や浄化能力を積極的に利用するグリーンインフラを取り入れた新しいまちづくりについて考えます。

プログラム

【司会：笹川みちる：NPO 法人雨水市民の会・雨水活用推進小委員会】

開会の挨拶（5分） 13:00～ 水環境運営委員会主査 西川 豊宏
これからの雨水政策（15分） 13:05～ 国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源政策課

【基調講演】 蓄雨とグリーンインフラを取入れたこれからのまちづくり（60分） 13:20～
京都学園大学 森本 幸裕

◆第一部 講演（10分+20分×4） 14:20～

テーマ：雨まちづくりを実現する蓄雨とは

蓄雨解説アニメーション紹介（雨水活用技術規準概要含） 福井工業大学 近藤 晶
【防災蓄雨】 災害時のトイレ問題 福井工業大学 笠井 利浩
【治水蓄雨】 雨水の貯留・浸透効果 雨水貯留浸透技術協会 屋井 裕幸
【利水蓄雨】 雨水利用の実績とコスト 広島工業大学 宋 城基
【環境蓄雨】 水循環とグリーンインフラ 神戸大学 福岡 孝則

休憩 雨水アトラクション（福岡大学）（15分） 15:50～

◆第二部 パネルディスカッション（80分） 16:05～

テーマ：グリーンインフラのまちづくり、ひとづくり

コーディネータ 福井工業大学 笠井 利浩

パネリスト NPO 法人雨水まちづくりサポート 神谷 博

あまみず社会研究会 角銅久美子

崖線みどりの絆・せたがや 中川 清史

NPO 法人雨水市民の会 笹川みちる

コメンテータ 京都学園大学 森本 幸裕

閉会の挨拶（5分） 17:25～

雨水活用推進小委員会幹事 大西和也

◆会場入口展示 松山市河原学園雨水建築WS 優秀作品、雨水建築事例、ポर्टランド視察報告

参加費：会員 1,500 円、後援団体会員 2,000 円、会員外 2,500 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：100 名（申し込み先着順）

申込方法：Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1703> よりお申し込みください

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬 TEL03-3456-2051 E-mail: ichinose@aij.or.jp